

ひろしま木育アカデミー2022 第5回ものづくり編「ものづくりを取り入れた木育2ー木の連絡帳収納ボックス」を9月3日（土）に広島大学東広島キャンパス・教育学部の木材加工実習室にて開催しました。

はじめに、「木育におけるものづくりの意義」とそれに関連するような「実践事例紹介」についてお話ししました。第4回にお話ししたものづくりを木育の中で行うことによる教育的な効果の振り返りに加え、木質材料の特徴・性質と製造方法について概説しました。特に、今回の製作の材料として使用する合板については、合板を指す言葉として用いられている3つの言葉を取り上げ、材料の特徴や製造方法を理解した上で正しい言葉を伝えて（木育の担い手として使って）欲しいとお話ししました。実践事例紹介では、今回の木の連絡帳収納ボックスと同様に木材（製材品、無垢材）と合板を用いた製作題材を取り上げ、実践プログラムと一緒に紹介しました。

次に、「木の連絡帳収納ボックスづくりを体験しよう」として、最初に使用する材料の種類と特徴、木材と合板の違い、製作工程と使用する工具、注意点を説明した後、製作を行いました。今回の製作では、安全で効率の良い作業となるような工夫をいくつも取り入れ、体験して頂きました。特に、削る作業と穴をあける作業では、手工具と機械の両方を用い、そのメリット・デメリットについて体験しながら考える機会を設けました。

最後の「木育プログラムを企画しよう」では、「ものづくりを通して木材・木質材料を知る」をテーマに、木の連絡帳収納ボックスづくりを体験したときに考えたこと・気づいたことをグループ内で共有しました。（その後、小学校5、6年生を対象に木材・木質材料の特徴を体験的に知ることができる木の連絡帳収納ボックスづくりを120分で実践する際の工程・時間・内容・ポイント・安全面の配慮を考え、プログラム（製作工程表）としてまとめる予定でしたが、製作の時間が予定より長くなってしまったため行うことができませんでした。）



5回目のひろしま木育アカデミー2022では、木育の活動として最も実践されているものづくりに着目したセミナーを開催しました。木の連絡帳収納ボックスは、140分で完成するように計画をしていましたが、20分ほどオーバーしてしまいました。ものづくりの実践では、全体の調整と個に応じた対応が求められます。今回、改めてものづくりの実践の難しさを感じました。

次回は、9月25日（日）第6回木材産業編「木材産業に関する活動を取り入れた木育」を府中市生涯学習センター（見学場所：土井木工株式会社）にて行います。多くの皆さんの参加をお待ちしています。